

半導体漫遊記

湯之上隆

(272)

2020年2月ごろから世界中にコロナの感染が拡大し、人々の生活は一変した。6月2日からオンデマンド形式で開催されたTSMCテクノロジーションポシウムによれば、次のような新しい生活様式(New Normal)が人々の間に普及し、定着してきているという。

ネットショッピングは、8週間で10年分を売り上げた。②リモートワークを行う人は、3カ月で20倍に増加した。オンライン学習は、2週間で2億5千万人に拡大した。オンラインゲームは、5カ月で7年分がダウンロードされた。

このような新しい生活様式の普及により、あらゆる分野の半導体不足が顕在化し、もはや狂乱状態の様相を呈している。半導体不足に加えて、東南アジアの部品工場がコロナのクラスターが発生したため、日米欧など世界中のクルマメーカーの工場が軒並み停止している。また、各種半導体不足で、PCやサーバーが需要通りつくれ

なくなっている。さらに、90nmのレガシーから5nmの最先端まで、幅広い半導体が必要なスマートフォンもつくれなくなってきた。そして、ゲーム機や各種家電製品も、半導体不足でつくれないう状態である。

最も深刻なのはコロナ用の医療機器、例えば、このような半導体不足に対処するため、世界で半導体の巨額投資が開始されている。TSMCは今後3年間で約11兆円を投資するが、今年だけで3・3兆円投資することになった。また、サムスン電子は30年までにファブリー事業に16・5兆円を投資することを

間でも240億ドル(2・6兆円)を投資することを計画している。以上に加えて、中国は国家政策「中国製造2025」のもと、半導体の自国生産を強化するために約20兆円を投資する(と聞いている)。その中国とハイテク戦争を行っている米国は、バイデン政権

から22年にかけて米国で6棟、台湾8棟、中国8棟、韓国2棟、日本2棟、合計24棟の半導体工場が建設される見込みである。それにしても、この投資額と工場の乱立は異常である。筆者は、このありさまがハーメルンの笛吹きに踊らさ

れているネズミたちのように思えてならない。「半導体不足」というブームに乗って、各国の半導体メーカーが一斉に走り始めている。その先に待ち受けているのは断崖絶壁で、そこから半導体価格の大暴落という奈落の底に落ちるのは火を見るよりも明らかなの(微細加工研究所所長)

笛吹きに踊るメーカー

いずれ価格が大暴落か

世界中で半導体・大增産・狂騒曲が進行中



が国内の半導体製造強化のために520億ドル(約5・7兆円)を投資する。8月28日の日経新聞によれば、世界10社の半導体メーカーが、今年だけで12兆円を設備投資することになるとい

明らかなにしていたが、刑務所から仮釈放された李在鎔副会長は、今後3年間で240兆円を投資する。

2025」のもと、半導体の自国生産を強化するために約20兆円を投資する(と聞いている)。その中国とハイテク戦争を行っている米国は、バイデン政権

から22年にかけて米国で6棟、台湾8棟、中国8棟、韓国2棟、日本2棟、合計24棟の半導体工場が建設される見込みである。それにしても、この投資額と工場の乱立は異常である。筆者は、このありさまがハーメルンの笛吹きに踊らさ

れているネズミたちのように思えてならない。「半導体不足」というブームに乗って、各国の半導体メーカーが一斉に走り始めている。その先に待ち受けているのは断崖絶壁で、そこから半導体価格の大暴落という奈落の底に落ちるのは火を見るよりも明らかなの(微細加工研究所所長)